

## 地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 21 2022.02

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

## 第 22 回「もっとよく知ろう手柄」ミーティング

## 会議概要

日時	場所
令和 4 年 2 月 27 日 (日) 13 : 30~15 : 05	姫路市総合福祉会館 第 2 会議室

出席者 (順不同)	自治会長や地域活動団体関係者等約 35 名、姫路市 5 名
-----------	-------------------------------

議題
<ul style="list-style-type: none"> <li>「手柄ザクラと地域の活性化について」 講師：兵庫県立大学 熊谷 哲 名誉教授 企画：地域交流グループ</li> </ul>

議事内容 / 結果
<p>1 開会 高澤手柄地区連合自治会長 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月末の日曜日に開催してきた本会も 22 回目を迎えた。よく継続できたなと思っている。本会は地域活動充実支援事業という市の支援を受け開催しており、事業が終了する来月末にまとめを行う。しかし 4 月以降も、リニューアルオープンする市立手柄公民館にて、各グループの活動とともに本会を継続したい。公民館だよりで告知するので、奮ってご参加いただきたい。</li> <li>今日の講師である熊谷先生には、3 年ほど前に手柄の掘り起こしをしていただき、手柄のフタエカスミザクラは珍しいという話があったが、とんとん拍子に話が進み、昨年 5 月には新品種として認定された。さらに今年 5 月にアクリエひめじで開催される「全国花のまちづくり姫路大会」では手柄ザクラとして、全国に向けて紹介される予定である。大会にもぜひ参加してほしい。</li> </ul> <p>2 講話「手柄ザクラと地域の活性化について」 6 年前に大学を退職し、名誉教授の肩書はあるが、今は NPO 法人の理事長や (公財) 日本花の会の理事などを務めながら、里山ガーデンの整備や、花や緑による地域の活性化に取り組んでいる。 万葉集にある、播磨娘子 (はりまのおとめ) が詠んだ歌に桜が出てきており、播磨地方には古くから桜が咲いていたことは間違いない。 手柄ザクラはカスミザクラの一種で、平成 8 年に発見され、二重 (10 弁) の花が咲くことから、フタエカスミザクラと命名された。カスミザクラは 4 月中旬から下旬にかけて咲く遅咲きの桜で、誤ってヤマザクラとして扱われてしまうこともあるマイナーな種だが、日本の桜の野生種 11 種のひとつである。なお、桜の品種は 350~600 あるともいわれている。野生種の 1 つであるクマノザクラは、2018 年に紀伊半島南部で発見され 100 年ぶりの新種として大きなニュースとなったが、そ</p>

れ以前からヤマザクラとは咲く時期の違いは認識されており、地元にある大切な宝が放置されていたとも言える。手柄ザクラも、珍しいものがあるなあで終わらず、スポットライトを当て、地域の宝として心の支えにすべきだと思っており、そのためには新品種としての認定が原動力となると考えている。手柄ザクラは自生していたものか植えられたものかが議論になったが、場所から考えても、自生していたものと考えられる。市内に他にも同品種がないか、調査が必要だと思う。

桜を使った地域活性化例として河津桜がある。原木は、昭和30年頃、河津川沿いの冬枯れ雑草の中で芽咲いているさくらの苗が偶然発見され、現在の場所に移植されたもの。昭和49年に河津桜と命名され、翌年には河津町の木に指定された。現在では早咲きの桜として有名で、増殖して植えられて多くの観光客が訪れる桜の名所となっており、平成31年の報告では、河津町（人口6,964人）への経済波及効果は27億円と見積もられている。

桜と言えば桜餅、という方もいるだろうが、関西でなじみがあるのは道明寺桜餅、一方、関東では小麦粉を主としたクレープ状の皮で餡を包む長命寺桜餅が主である。

手柄ザクラの活用として、まずは原木の保全、その後、苗の増殖、各地への植樹、活動を推進する組織づくり、名所づくりの流れが考えられ、子供たちに地域の宝を理解してもらう活動や市内での啓発活動も重要である。地酒、お菓子、姫革、城などの名所旧跡、ジャコウアゲハなどの特徴的な生物と組み合わせた商品化も考えられる。いずれにしても、河津桜の例からも数年でできる話ではなく、かなりの時間がかかる。

2006年から里山ガーデンの整備を始めたが、当初、この住宅地に眠る地域資源を探して、価値を高めようと思っていた。16年間取り組んできて、全国花のまちづくりコンクール国土交通大臣賞や地球環境保全功労者環境大臣表彰を受けるなど、それなりに評価されたが、本当に地域活性化につながったのか疑問だ。しかし、人のつながりは確実に増えた。里山ガーデンの、子供の自由な自然体験をサポートするプレーパークには、絵を描く、音楽を作る、フラワーアレンジメントをする、ファッションに関心が高い、外部への発信が好き、など、たくさんのお母さん方が集まって来る。その中から、自身の活動を通じて、里山ガーデンの運営スタッフになったり、新たな企画が生まれたりするなど、里山ガーデンの活性化につながっている。

次回 令和4年3月27日（日） 13時30分から 姫路市立手柄公民館

内容：「手柄ロマンのライブ演奏と手柄地区地域活動充実支援事業のまとめ」

演者：山田 浩三 氏（作詞、作曲） 報告者：高澤手柄地区連合自治会長

当日の様子

